

第5講 広場がつくる博物館教育

1. 自然史博物館の展示変遷

	19世紀後半	20世紀前半	20世紀中頃	20世紀後半	21世紀
テーマ	形態	生態	進化	多様性	統合
手法	資料陳列	ジオラマ	グラフィック	マルチメディア	美術陳列
配置	露出	ガラス越し	ケースの中	樹脂封入／浸透	取捨選択
補助	なし	背景画	図版・写真	模型・映像	人間
視点	自由	固定	固定	自由	自由
伝達内容	博物学	生息地	科学理論	環境倫理	科学研究
類似施設	博覧会	映画館	寺院教会	テーマパーク	広場・工房
空間照明	自然採光	自然採光	人工照明	低照明	混合照明
資料照明	自然採光	人工照明	人工照明	人工照明	高演出照明
観覧効果	驚き	旅行気分	教養勉強	興奮歓楽	知的好奇心

博物館教育にふさわしい展示室は、つぎの3点を備えていることと考える。あくまで宇仁個人の考え。

- 1) 人間がいること
- 2) 広場があること
- 3) すわるれる床であること

【参考資料】

全日本博物館学会2012年第38回研究大会：「自然史博物館21世紀型の展示」

http://nodaiweb.university.jp/muse/unisan/data/zennipponhaku2012_uni.pdf pdf 6.7 MB

宇仁義和. 2013. 自然史博物館の展示類型と21世紀型の展示. 博物館学雑誌, 38(2): 75– 90.

http://nodaiweb.university.jp/muse/unisan/files/Exhibition_Methods_21.pdf PDF 3.8MB

【次ページにレポート用紙あり】

学科：

学籍番号

氏名

本日のスライドの感想を求めます。今回は「感想文」でよろしいです。授業中に作成提出。欠席者は参考資料を閲覧して作成して後日提出。今回のレポートは、この用紙に手書きのこと。欠席者は各自プリントする。